



白戸年度 財団寄付 1 千万ドル達成確実

2820 地区（茨城）が 2550 地区（栃木）から分離・独立してから今年で 24 年がたちました。この間の財団寄付（年次、恒久、ポリオ）の合計は 6 月 30 日現在、9,869,780 ドルに上り、白戸年度で 1 千万ドルの達成が確実になりました。

寄付年度	ガバナー	財団寄付
1992-1993 年度	山縣健三	355,441.59
1993-1994 年度	根本正一	409,995.70
1994-1995 年度	山本吉蔵	619,765.26
1995-1996 年度	木村 功	392,058.65
1996-1997 年度	佐藤二郎	413,489.13
1997-1998 年度	西村敏彦	341,765.58
1998-1999 年度	埴 東雄	390,564.44
1999-2000 年度	吉澤繁男	372,779.22
2000-2001 年度	吉岡昭文	296,400.91
2001-2002 年度	北村 仁	338,885.59
2002-2003 年度	片岡信彦	591,607.14
2003-2004 年度	清水 清	290,652.34
2004-2005 年度	永井靖彦	434,420.11
2005-2006 年度	萩原亢雄	358,502.14
2006-2007 年度	佐藤 衛	417,947.79
2007-2008 年度	井上壽博	390,212.49
2008-2009 年度	廣瀬昭雄	450,841.59
2009-2010 年度	内藤 彰	464,156.82
2010-2011 年度	山崎清司	437,529.86
2011-2012 年度	大木 勲	506,044.25
2012-2013 年度	野堀喜作	421,204.18
2013-2014 年度	長谷川國雄	405,143.39
2014-2015 年度	藤居彰一	394,917.34
2015-2016 年度	倉沢修市	375,465.05
24 年 合 計		9,869,790.56

7月のレートのお知らせ

\$ 1 = ¥ 102 * 月末レートは実際に入金された時のレートが適用されますのでご注意ください。

ポリオ発症例数報告



2016 年 06 月 21 日現在のポリオ発症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタンの 2 カ国です。

ポリオ発症例数 3 年間の推移

	国 名	2016	2015	2014
		06/21	通年	通年
常在国	パキスタン	11	54	306
	アフガニスタン	6	20	28
常在国以外	ナイジェリア			6
	イラク			2
	赤道ギニア			5
	エチオピア			1
	カメルーン			5
	シリア			1
	ソマリア			5
	世界合計	17	74	359

上記症例数は世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）に報告されている野生株ポリオ症例数です。

ソウル国際大会でポリオ撲滅を評価

5 月 29 日、韓国で開催されたロータリー国際大会



会開会式に出席した国連事務総長潘基文氏は「ポリオ撲滅は「あと少し」

と述べたうえで、ポリオ撲滅のための資金調達とアドボカシー活動におけるロータリーの貢献を評価しました。

そして「今後も闘いを続ける上で、引き続き声を大きくして、各国政府からの支援が必要であることを訴え、撲滅キャンペーンへの認識向上をご支援ください」と訴えました。

DDF 承認案件

倉沢修市ガバナーと地区ロータリー財団委員会は、タイ・3330 地区 Kanchanaburi RC から支援要請のありました下記事業がグローバル補助金 (GG) 使用に適切な事業であると認定し、DDF (地区財団活動資金) の支出を承認しました。

また同時に牛久 RC と 7230 地区・New York RC との寺前優子 GG 奨学金支援の案件も承認しました。

GG1634702	ロータリーによる読書と学習事業支援
実施国代表提唱者	Kanchanaburi 3330
援助国代表提唱者	地区 2820
重点分野	基本的教育と識字率の向上
事業予算	38,000 ドル
当地区 DDF 支援	15,000 ドル
当地区クラブ支援	

GG1642282	寺前優子奨学金
実施国代表提唱者	New York 7230
援助国代表提唱者	牛久 2820
重点分野	経済と地域社会の発展
事業予算	30,000 ドル
当地区 DDF 支援	15,000 ドル
当地区クラブ支援	

ロータリー会長 母のポリオについて語る

韓国で6月1日(水)に開催されたロータリー国際大会の最終日、K. R. ラビンドラン国際ロータリー会長が、30歳でポリオに感染した自身の母親について会場を埋め尽くした聴衆に語りました。



母親がポリオに感染したのは、ラビンドラン会長が11歳の時、ある朝に目覚めた母親は、体のだるさと息切れを感じました。ポリオウイルスがあつという間に神経系を侵し、足がまひし、動かなくなりました。すぐさま入院し、呼吸をするために「鉄の肺」に入れられました。スリランカにはない人口呼吸器は会員の協力で海外から取り寄せることができました。「53年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったでしょう。ロータリーが“ポリオのない世界”という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数カ月先かもしれないということを申し上げます」と会長は熱く語りました。

倉沢年度グローバル補助金の申請現況

件	GG Number	Title	Host	International		DDF
1	GG1640494	読書とロータリーの愛	Payo	2820	提出済み	15,000 ドル
2	GG1639727	よりよい教育のための機器	Kasthamandap	下館	提出済み	16,000 ドル
3	GG1638732	寝たきり患者のベッド贈呈	Charoen Nakorn	土浦	提出済み	8,500 ドル
4	GG1637190	目の健康ケア関係	Phra Nakhon	大子	提出済み	15,000 ドル
5	GG1635848	子供と家族の図書館	Kaen koon	2820	提出済み	15,000 ドル
6	GG1635357	読書とロータリーの愛	Patumwan	水戸東	承認済み	15,000 ドル
7	GG1414099	マラリア撲滅			承認済み	5,000 ドル
8	GG1635814	母乳バンク	Chinatown	友部	承認済み	25,000 ドル
9	GG1635197	腎臓病透析機器			承認済み	5,000 ドル
10	GG1642282	寺前優子奨学金	New York	牛久	提出済み	15,000 ドル
11	GG1638744	寝たきり患者のベッド贈呈			提出済み	6,500 ドル
12	GG1634702	読書と学習事業支援	Kanchanaburi	2820	提出済み	15,000 ドル
注) GG1414099/ GG1635197/ GG1638744 の3件は、DDF のみの寄贈です					合計	156,000 ドル

倉沢年度 年次基金・ポリオ・恒久基金寄付

	年次基金	ポリオ	恒久基金	年次分区
1	水戸南	水戸南	土浦南	第5分区
2	結城	下館	土浦	第3分区
3	日立南	水戸西	※3クラブ	第4分区

※3クラブ→東海那珂 古河 鹿島臨海(5月31日)

	2016/05/31 現 在	年次基 金寄付	ポリオ プラス	恒 久 基 金
分 区	ク ラ ブ 名	目 標 130 ドル/人	目 標 20 ドル/人	ベネファ ク タ ー 他
第 一 分 区	日立	\$148.81	\$20.60	\$1,000.00
	日立南	\$193.57	\$20.71	\$1,000.00
	高萩	\$53.07	\$13.33	
	北茨城	\$81.85	\$20.00	
	日立港	\$123.26	\$16.13	\$1,000.00
	日立北	\$38.36	\$7.21	
	日立中央	\$141.95	\$20.00	
	小計	\$112.57	\$16.84	\$3,000.00
第 二 分 区	那珂湊	\$116.04	\$20.00	
	常陸太田	\$138.71	\$32.80	\$1,000.00
	大子	\$130.00	\$20.00	\$1,000.00
	大洗	\$108.34	\$10.63	
	勝田	\$167.47	\$20.80	
	東海那珂	\$130.00	\$20.00	\$2,000.00
	ひたちなか	\$130.00	\$20.00	\$1,000.00
	小計	\$130.32	\$20.56	\$5,000.00
第 三 分 区	水戸	\$133.33	\$24.96	\$1,000.00
	笠間	\$78.00	\$12.00	
	水戸西	\$160.27	\$34.57	\$1,000.00
	水戸南	\$243.18	\$62.51	\$1,300.00
	友部	\$81.25	\$12.50	\$1,000.00
	水戸東	\$156.54	\$23.08	\$1,000.00
	水戸さくら	\$130.00	\$20.00	
	水戸好文	\$55.05	\$25.71	\$1,043.10
小計	\$157.03	\$32.82	\$6,343.10	
第 四 分 区	古河	\$177.98	\$25.49	\$2,000.00
	境	\$130.00	\$20.00	\$1,000.00
	岩井	\$86.67	\$13.33	
	古河東	\$166.20	\$23.80	\$1,000.00
	古河中央	\$131.01	\$20.00	
	小計	\$152.28	\$22.36	\$4,000.00

	2016/05/31 現 在	年次基 金寄付	ポリオ プラス	恒 久 基 金	
分 区	ク ラ ブ 名	目 標 130 ドル/人	目 標 20 ドル/人	ベネファ ク タ ー 他	
第 五 分 区	下館	\$178.95	\$36.29	\$1,000.00	
	結城	\$223.10	\$30.71	\$1,000.00	
	真壁	\$141.76	\$20.00	\$1,000.00	
	下妻	\$111.52	\$17.16		
	しもだて紫水	\$175.95	\$20.00		
	筑西きぬ	\$130.00	\$20.00	\$1,000.00	
	岩瀬	\$102.44	\$12.31		
	小計	\$159.85	\$23.50	\$4,000.00	
	第 六 分 区	石岡	\$150.00	\$17.50	\$1,000.00
		土浦	\$139.07	\$21.11	\$3,000.00
土浦南		\$165.47	\$28.02	\$4,300.00	
つくば学園		\$113.46	\$10.00	\$1,000.00	
石岡87		\$104.00	\$16.00		
土浦中央		\$100.00	\$21.60	\$1,000.00	
つくばシティ		\$191.00	\$14.00		
阿見		\$76.76	\$11.47		
つくばサライズ		\$111.11	\$9.58		
小計		\$138.78	\$17.05	\$10,300.00	
第 七 分 区	竜ヶ崎	\$173.45	\$30.28		
	水海道	\$167.49	\$17.82	\$1,000.00	
	取手	\$132.35	\$21.00	\$1,000.00	
	牛久	\$126.57	\$31.05	\$1,000.00	
	守谷	\$108.33	\$16.67	\$1,000.00	
	稲敷	\$130.00	\$20.00	\$1,000.00	
	藤代	\$63.33	\$22.65		
小計	\$139.69	\$22.74	\$5,000.00		
第 八 分 区	潮来	\$145.45	\$9.09		
	鉾田	\$146.87	\$25.78	\$1,000.00	
	鹿島臨海	\$133.42	\$20.53	\$2,000.00	
	玉造	\$156.00	\$24.00	\$1,000.00	
	波崎	\$130.00	\$20.00		
	鹿島中央	\$154.35	\$28.26	\$1,000.00	
小計	\$142.69	\$22.38	\$5,000.00		
		\$142.40	\$22.86	\$42,643.10	

地区補助金 54 クラブが申請

2016-17年白戸年度の地区補助金の総額は81,630ドルと、前年度（倉沢年度）より1,677ドルの増額となりました。

今回地区補助金の申請クラブは56クラブ中54クラブ、申請率は96%と驚異的な数字に上りました。残りの2クラブも近日中に申請予定です。なお2017年度地区補助金申請書は審査のため5月26日ロータリー財団に提出、6月18日ロータリー財団により正式に承認されました。

小人数クラブもこの補助金で「クラブのサポートと強化」「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」という存在感のある地域の奉仕活動を展開し、会員増強の一助にもしていただきたく思います。

54 クラブ申請状況報告

	クラブ名	活動種類	プロジェクト名/活動内容	実施地	予定\$
第1 分 区	1 日立	保健（ボランティア奉仕）	「母子療育施設」入居障害者の骨格形成、変形拘縮の軽減・予防支援を目的として、立位保持装置を寄贈。	日本	1200
	2 日立南	教育一般	特別支援学校に在籍する障害者の音楽教育を支援するため、不足する打楽器を寄贈	日本	700
	3 高萩	教育一般	地域内児童生徒及び父兄市民の国際理解と語学力向上に資する英語スピーチコンテストを開催	日本	900
	4 北茨城	教育一般	「薬物乱用防止ダメ・ゼッタイ運動」啓蒙活動の一環として軟式野球・ソフトテニスの「近隣地区中学校対抗スポーツ大会」を開催	日本	1000
	5 日立港	教育一般	市内小中学生を対象に野球とバスケットボール大会を開催し、薬物乱用防止キャンペーンによる青少年の健全育成を図る。	日本	800
	6 日立北	教育一般	元プロ野球選手杯少年団野球大会を開催し、「挨拶、礼儀、協調、体育」を指導する。併せて参加少年及び家族との交流を通して青少年の健全育成を支援	日本	300
	7 日立中央	地域社会の発展	郷土理解・郷土活性化に寄与すべく、地域住民が集う市内交流センターに郷土を紹介する「郷土かるた」を配布	日本	600
	クラブ名	活動種類	プロジェクト名/活動内容	実施地	予定\$
第2 分 区	8 那珂湊	保健（ボランティア奉仕）	福祉作業所に通所する障害者の社会復帰支援策としてRC杯ボーリング大会を開催し、併せてその家族も支援	日本	500
	9 常陸太田	地域社会の発展	有事における防災拠点としての役割を担う「道の駅」に、来訪者の利便性と地域活性化に寄与するため屋外時計を設置	日本	2000
	10 大子	教育（ボランティア奉仕）	市内保育園児・小学生を対象に、環境保全教育の一環として久慈川への鮭稚魚放流活動を支援	日本	800
	11 大洗	地域発展の発展	発達障害児の子育て支援策として相談会を年度内5回開催	日本	800
	12 勝田	教育（ボランティア奉仕）	特別支援学校在学の障害生徒に対する自立支援策として、カメラ技術習得のための職業訓練を指導	日本	1900
	13 東海那珂	保健（ボランティア奉仕）	児童養護施設入所児童と施設利用地域住民と施設整備共同作業、作業後のバーベキューにより社会復帰を支援	日本	2100

	14	ひたち なか	保健 (ボランティア奉仕)	勝田特別支援学校在學生と地域自治会・老人クラブにより、校内外花壇への植樹等共同作業を通して社会復帰を支援	日本	900
		クラブ名	活動種類	プロジェクト名/活動内容	実施地	予定 \$
	15	水戸	教育 (識字率の向上)	ベトナム・ホーチミン近郊貧困地区小学校に文具配布及び通学道路の整備支援	Viet-Nam	1500
	16	笠間	保健 (ボランティア奉仕)	福祉作業所通所者と常磐大学野球部員・少年野球倶楽部部員・地域住民による市内清掃活動併せてバーベキュー交流会を実施し障害者を支援	日本	1000
	17	水戸西	教育一般	プロサッカー選手による地域内小学生を対象にサッカー教室を開催し、少年少女達の健全育成を支援	日本	1400
	18	水戸南	教育一般	教育委員会指定小学校講堂に、地域社会への貢献と公共イメージ向上に資するため緞帳一式を寄贈	日本	2100
第 3 分 区	19	友部	地域社会の発展	ボランティア奉仕活動奨励を目的として、主に要介護・独居高齢者等に対し10年以上ボランティア奉仕活動者の褒賞	日本	1400
	20	水戸東	教育 (ボランティア奉仕)	茨城大学留学生に日本文化と歴史体験且留学生生活支援を目的として、日光東照宮参拝と流鏝馬見学を実施	日本	2100
	21	水戸 さくら	教育一般	「薬物乱用防止ダメ・ゼッタイ運動」啓蒙活動の一環として近郊中学新人卓球大会を開催	日本	400
	22	水戸 好文	教育 (ボランティア奉仕)	水戸市内特別支援学校在學生による作品展 (絵画、イラスト、写真、陶芸等) の開催を支援	日本	600
		クラブ名	活動種類	プロジェクト名/活動内容	実施地	予定 \$
	23	古河	教育 (ボランティア奉仕)	地元高校生を対象に、地域の歴史・文化・経済活動等地域住民との交流を通して、1泊2日の社会体験授業を支援	日本	2100
第 4 分 区	24	境	教育 (識字率の向上)	アフリカ・マリ共和国の学習環境不整備学童の支援策として、余剰カレンダー送付提供	mali	1100
	25	岩井	地域社会の発展	地域活性化と健康増進を目的とした「いわい将門マラソン大会」参加者 (9000名見込み) への「トン汁」提供	日本	1400
	26	古河東	教育一般	パラオ共和国の離島 (ペリリュー島) に暮らす小学生のスポーツ振興・健全育成策として、サッカーボール他スポーツ用品併せてクレヨン等学用品を贈呈	Palau	2100
	27	古河 中央	地域社会の発展	市民憩いの場である古河市ネーブルパーク (ホテルの里) 内河川改修により蛍幼虫生育環境整備事業を支援	日本	2000
	28	下館	地域社会の発展	水害防止・水質保全と環境保全の役割を果たしている母子島遊水地周辺の清掃と除草作業による環境保全	日本	2100
第 5 分 区	29	結城	教育 (ボランティア奉仕)	自然環境保全教育を目的として親子による里山での自然体験学習講座を開催	日本	2100
	30	真壁	教育 (ボランティア奉仕)	筑波大学留学生とその家族に対し、日本文化・生活習慣理解促進のための交流会を実施	日本	1100
	31	下妻	地域社会	市民憩いの場である「下妻ホテルの里」の蛍幼虫育成	日本	1100

の発展 環境向上を図るため、近隣ホテルからの雨水循環水路を改善

32	しもだ て紫水	地域社会の 発展	環境保護啓蒙活動・地域活性化の一環として、市民と小学生による市内を流れる勤行川の清掃と鮭稚魚の放流	日本	1800
33	筑西 きぬ	教育一般	外国人との交流機会が少ない地元小学校で、筑波大学留学生による国際交流事業を実施	日本	1300
34	岩瀬	地域社会 の発展	ごみ不法投棄防止・環境美化啓蒙を目的として「ゴミ捨て禁止」看板を設置し、地域住民の意識向上に資する	日本	500

クラブ名 **活動種類** **プロジェクト名/活動内容** **実施地** **予定\$**

35	石岡	地域社会 の発展	地域住民憩いの場である石岡市民梅園の樹木剪定除草を実施	日本	1200
36	土浦	地域社会 の発展	土浦市霞ヶ浦総合公園内に夜間照明(足元灯) 5基を設置し、夕方・夜間来園者の安全利用支援策	日本	1000
37	土浦南	地域社会 の発展	市民運動広場の利用促進・スポーツ振興策として、観戦者用ベンチを設置	日本	2100
38	つくば 学園	地域社会 の発展	つくば市公共施設である「豊里ゆかりの森」里山整備事業を通して、環境保全、社会貢献、青少年育成(ボーイスカウト・つくば学園 RA) に貢献	日本	1400
39	石岡 87	教育(ボラン ティア奉仕)	環境保全教育の一環として、地元小学生を対象に近隣里山の環境整備と自然観察活動を支援	日本	300
40	土浦 中央	地域社会 の発展	市内観光施設「小町の里」活性化策として、地域特産品奨励策としてのグルメ祭り、コンサート開催等支援	日本	1800
41	つくば シティ	保健(ボラン ティア奉仕)	高齢者の健康増進・交流拡大を目的として、高齢者ニュースポーツ(グランドゴルフ)の普及及び交流大会を開催支援	日本	700
42	阿見	教育(ボラン ティア奉仕)	社会教育の一環として、児童と保護者により警察署を見学し、防犯と交通安全講習会を実施。事後バーベキューによる相互理解促進を図る	日本	1300
43	つくばサ ンライズ	教育一般	少年と心身健全育成と保護者との交流を目的してクラブ杯少年サッカー大会を開催	日本	700

クラブ名 **活動種類** **プロジェクト名/活動内容** **実施地** **予定\$**

44	竜ヶ崎	教育一般	青少年の健全育成と地域のスポーツ振興を目的としてスポーツ大会(男子のサッカー、女子のミニバスケットボール)を開催	日本	1100
45	水海道	教育(ボラン ティア奉仕)	昨年発生した大水害から学ぶ歴史教育事業として、地元小学生を対象にドローンによる堤防決壊現場撮影体験及び被害水位計支柱設置個所調査学習体験を支援	日本	2100
46	取手	教育(ボラン ティア奉仕)	健全な心身の発育に資する音楽による特別授業を実施	日本	1400
47	稲敷	教育(ボラン ティア奉仕)	ロータリアンにより市内小学校児童を対象として、椅子の制作を通して木工技術(鋸、金槌使用法)の指導を実施	日本	700

第
6
分
区

第
7
分
区

クラブ名	活動種類	プロジェクト名/活動内容	実施地	予定\$
48 竜ヶ崎中央	教育 (ボランティア奉仕)	市内小学生・中学生を対象に、施設高齢者と知的障害者とのボランティア体験を支援	日本	500
49 潮来	保健 (ボランティア奉仕)	ロータリークラブ杯グランドゴルフ大会を開催し、高齢者の心身健康増進と地域活性化に貢献	日本	1900
50 鉾田	地域社会の発展	地域活性化策として、市役所・小中学校等市内公共施設花壇に草花を植栽する。植栽には児童も体験学習として参加	日本	1200
第8分区 51 鹿島臨海	教育 (ボランティア奉仕)	地域内小中学生を対象に伝統遊具 (けん玉、竹馬、輪投げ等) での遊び方指導を通して健全育成を図る	日本	1000
52 玉造	教育一般	地域内青少年の健全育成を図るため、野球・剣道・サッカー等を主宰する「行方スポーツ少年団」に団旗を寄贈	日本	800
53 波崎	教育 (ボランティア奉仕)	ツインクラブ提携先サイパンRCとの交流事業の一環として、市内高校生 12 名を派遣し、老人ホームでのボランティア体験・外国の教育・文化・生活等の体験を支援	Saipan	1900
54 鹿島中央	地域社会の発展	鹿嶋市サッカースポーツ少年団が主催する鹿嶋市サッカー大会を支援し、健康で健全な青少年の育成と活性化	日本	1000
55 2820	管理運営費	資金管理セミナー会場費・資料作成費等を含 1,500 ドル	N/A	2400
56 2820	臨時費	臨時的に生じた国内外への奉仕活動	N/A	11430
合 計				81,630

倉沢年度の財団総括

➤ 倉沢年度年次基金寄付目標 ; 130 ドル

地区実績 ; 146.52 ドル (6月30日現在)

➤ 倉沢年度ポリオ基金寄付目標 ; 20 ドル

地区実績 ; 22.86 ドル (5月31日現在)

➤ 倉沢年度ベネファクター ; 1名以上

地区実績 ; 35名 (6月30日現在)

➤ 倉沢年度全クラブ補助金 ; 有効活用

地区実績 ; 地区内 57 全クラブが有効活用

➤ 倉沢年度年次基金寄付 ; ゼロクラブなし

地区実績 ; 全クラブから年次基金寄付あり

➤ 倉沢年度グローバル補助金

- ① 人道的プログラム ; 11 件
- ② 奨学金プログラム ; 1 件
- ③ VTT (職業研修プログラム) ; 0

寄付総額世界上位 3ヶ国

アメリカ	130,454,939 ドル
日本	14,322,410 ドル
韓国	13,821,134 ドル

(6月27日現在)

編集後記 財団 News 廃刊

「財団は難しくてわからない」「財団寄付が何に使われているかわからない」という声を払しょくするには各クラブが地区補助金を使用し、国内外で有益な事業をしていただくことが財団を理解する早道です。◆地区財団委員会は、地区委員の徹底的教育と「出前卓話」「地区補助金申請書き方教室」「地区財団 News」等で財団の知識と関心を提供してまいりました。◆おかげさまで地区補助金の申請も2年連続で100%という偉業が達成でき、今や「財団寄付が何に使われているかわからない」という会員もいなくなりました。◆「地区財団 News」も3か年発行し上記の目的をサポートすることができました。よって今月号が最終号となります。長年ありがとうございました。(山崎清司 DRFC)